

群馬青年ビエンナーレ 2021

THE 15TH GUNMA BIENNALE FOR YOUNG ARTISTS

7月17日(土)～8月22日(日)

今回で15回目となる「群馬青年ビエンナーレ」は、若い世代を対象とした全国公募の展覧会です。「平面」「立体」「映像」「インスタレーション」などさまざまなジャンルにわたる作品が出品され、現代美術の最前線で活躍する5人の審査員による審査を経て50点の入選作品が決定しました。

未来への飛躍を目指す若いアーティストたちの、新鮮で可能性に満ちた表現をどうぞご覧ください。

会 期 7月17日(土)～8月22日(日)

会 場 群馬県立近代美術館 展示室3、4、5

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
※月曜日及び8月10日(火)は休館
(ただし8月9日、16日は開館)

観 覧 料 一般300円 大高生150円
※中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者1人は無料

関連事業 「こども+おとな+夏の美術館」にて出品作家によるワークショップ開催。
詳しくは当館HPをご覧ください。

そ の 他 新型コロナウイルスの感染状況に応じて変更または中止する場合があります。



【大賞受賞作品】
山本千愛《次にくる日のためのー(One for coming days)》

【今回のみどころ】

「入選作品50点、入賞作品8点」

大賞

山本千愛^{ちあき}《次にくる日のためのー(One for coming days)》

優秀賞

香月恵介^{かつき}《Lux#9》

奨励賞

川本早花^{さはな}《美しいあなたになりたい》
木田陽子《無痛》
下村奈那《10cmを1秒とする(178-42-14)》
谷口智美《地面からとおい場所》
中谷優希《scapegoat》

ガトーフェスタハラダ賞

水戸部春菜《We without words》

15回目の開催となる今回は、318組(459点)の応募がありました。

◇審査員◇

(敬称略、50音順)

荒木夏実 (キュレーター/東京藝術大学准教授)
澤田知子 (写真家)
鈴木ヒラク (アーティスト/東京藝術大学准教授)
長谷川新 (インディペンデントキュレーター)
鷺田めるろ (十和田市現代美術館館長)

【問い合わせ先】群馬県立近代美術館
370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1
TEL.027-346-5556 FAX.027-346-4064



美術館 HP

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

